『タウン通信』第371号　2018年9月12日（水）発行　4面

自由学園パン工房のカレーパンが

最高金賞を受賞

「食」の教育に力を入れている「自由学園」（東久留米市）のパン工房が中心になって開発した「キーマカツカレーパン」＝写真＝が、先月、「カレーパングランプリ2018」のバラエティ部門で最高金賞を受賞した。

このグランプリはカレーパンをもっと広めようと一般社団法人日本カレーパン協会が主催するもので今回が3回目。

受賞した「キーマ～」は、同校男子部（中等科・高等科）の生徒たちからの「腹持ちの良いパンがほしい」というリクエストで開発されたもの。ボリュームと栄養と色彩が考え抜かれた一品で、米粉が加えられたパン生地で、枝豆入りのキーマカレー、豚カツ、キャベツのソテー、さらに赤パプリカを挟んでいる。生地も中のカレーも、すべて自由学園パン工房で手作りしている。

同パン工房は、自由学園の在校生に焼きたてのパンを提供しようと1954年に開設された施設。同校に隣接する。

なお、「キーマ～」は、自由学園隣接の「しののめ茶寮」（学園町1の8の33）で一般販売もしている。数量に限りがある。また、販売しないこともあるので、詳細は同校食糧部（☎042・422・1091）へ。

◇

なお、今回のグランプリでは、六仙公園そばのパン店「プチ・フール」（同市中央町）も、焼きカレーパン部門（東日本）で金賞を受賞している。

最高金賞を受賞した「キーマカツカレーパン」（上）と授賞式の様子